

# Photo Gallery

まちの話題や風景を写真で紹介



双葉小学校、比延小学校、西脇東中学校の児童・生徒らが「秋の交通安全運動」実施に合わせて、交通安全祈願の千成ひょうたん300個を配布（9月27日、比延地区内）



西脇未来予想図の会が第7回出合いのパーティーを開催。史上最多の11組のカップルが誕生（9月28日、西脇ロイヤルホテル）



「温故知新」播州織220年の歴史の原点とも言える播州やたら織と最新のジャカード織物を組み合わせた製品を展示／内外織物株式会社の製品（12月下旬まで、西脇市役所）



市役所2階の郷土作家ギャラリーで「西脇市美術協会日本画部展」を開催。会員11名の作品11点を展示（11月28日まで、西脇市役所2階）

## 伝統工芸士による播州毛鉤体験学習

〔10月2日／楠丘小学校〕



200年の伝統がある播州毛鉤は「地域ブランド」の一つ。指導は伝統工芸士の横山禧一さん

楠丘小学校4年生27人が伝統工芸品「播州毛鉤」の作り方を体験しました。播州毛鉤は経済産業省から伝統的工芸品の指定を受けており、また、地域団体商標（地域ブランド）の一つでもあります。児童らは「格好いい毛鉤のブローチが作れてうれしい」などと喜んでいました。

## 福永隼也さんに西脇市文化賞を贈呈

〔10月13日／西脇市役所〕



国際大会で優秀な成績を収めた福永さんに西脇市文化賞を贈呈

第46回国際化学オリンピックで金メダルを獲得した福永隼也さん（西脇）の功績をたたえて、西脇市文化賞をお贈りしました。福永さんは「大学では理学部が工学部で研究するのが夢。社会に貢献したい」とこれからの豊かさを語りました。文化賞贈呈は平成23年の池田政之さんに次いで2人目です。

## 出産祝いのマザーズバッグを新調

〔8月／西脇病院〕



新しくなった播州織のマザーズバッグ

西脇病院では出産のお祝いに、播州織マザーズバッグをお贈りしています。これは神戸芸術工科大学や地元播州織関係企業、西脇商工会議所のご協力のもと、西脇病院の看護師・助産師がアイデアを取り入れ出来上がったもの。ほ乳瓶やペットボトル、母子手帳が入るポケットがついているのが特徴です。



左) ジャズライブ、右上) 関西学院大学都市研究会の皆さん、右下) 手作りのろうそく

黒田官兵衛ゆかりの古刹・荘厳寺で「官兵衛の里・西脇市」をPRしようと、「官兵衛ナイト」が開催されました（西脇市「官兵衛の里」推進協議会主催）。イベントの企画や演出は、関西学院大学都市研究会の学生たちが手がけ、今年6月から準備を行ってきました。「地域の外に住む私たちがならではの企画。黒田の里の新しい魅力を発見してもらえたらという思いで取り組んだ」と都市研究会代表の細川茜さん。

官兵衛ナイトでは、学生と地域の子どもたちが一緒に作ったろうそくに火を灯す「キャンドルナイト」を実施。その幻想的な雰囲気の中で、学生ら4団体によるジャズライブが行われました。また、子どもを対象とした「かぶとづくり」、官兵衛関連のグッズが当たる抽選会もあり、多くの参加者が秋の夜長を楽しみました。

幻想的な雰囲気の中でジャズライブ  
〔9月27日／荘厳寺〕



世界的奏者と演奏する教室生

アピカホール弦楽アンサンブル教室生が、第126回しばざくらコンサートの出演者「アンサンブル・ラロ ピアノ四重奏団」と一緒に演奏。メンバーのウィーンフィルハーモニー管弦楽団のチェロ奏者ヘーデンボルク・直樹さんから指導を受けました。7人の教室生たちは「体の中にあるリズムを表現し、仲間と共有するのが音楽」と指導を受け、音楽の奥深さを学びました。

## 世界的奏者と夢の共演

〔10月5日／アピカホール〕



千住金属工業株式会社と土地譲渡契約を締結

市では、千住金属工業株式会社と和田町用地の売買契約を結びました。同社は、はんだ製品を取り扱う国内最大手の企業で、国内の製造拠点は東京本社のほか3カ所、関連企業5社、海外にも29拠点を有しています。今回、西日本エリアでの生産拡大に伴い進出を決めました。地元からの新規雇用が期待されます。来年4月に工事が始まり、翌28年6月操業開始予定です。

西脇市に新たな企業が進出  
〔10月14日／西脇市役所〕

# まちの話題

このコーナーでは、イベントやまちの話題、団体の活動などを紹介しています。耳寄りな情報は秘書広報課まで（市役所内線207）。

紙面に載せきれないまちの話題がどんどん届きます。西脇市 facebook で情報発信中！